

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	黄斑疾患に対する治療前後の網膜構造と黄斑機能の解析
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
③概要	2012 年 1 月から 2028 年 12 月までに、新潟大学医歯学総合病院眼科において、黄斑疾患（網膜前膜、黄斑円孔、糖尿病黄斑浮腫、網膜静脈閉塞症による黄斑浮腫、黄斑部硝子体牽引症候群、加齢黄斑変性症、強度近視に伴う黄斑疾患）に対して治療を受けられた患者さんが対象となります。
④申請番号	2017-0095
⑤研究の目的・意義	黄斑部に障害をきたす黄斑疾患は、視力低下や歪視（物がゆがんで見えること）を引き起こし、日常生活に大きな支障を与えることがあります。近年、治療法が進歩し、良好な視機能が得られるようになりましたが、治療効果や視機能回復の程度には個人差があり、まだ明らかでない点も多く残されています。本研究では、光干渉断層計（OCT）、視野検査などの非侵襲的検査を用いて、治療前後における網膜構造と黄斑機能の関連性を解析し、より良い治療方針の確立を目指します。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2030 年 12 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている患者さんの診療記録および検査データを使用します。これらの情報は匿名化した上で統計的に解析され、個人が特定されることはありません。研究成果は学会や専門誌等で発表される場合がありますが、氏名など個人を特定できる情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	診療記録内の年齢、性別、診断名、治療内容（手術・注射等）、視力検査結果、OCT・OCTA 所見、視野・網膜感度検査結果などの情報を使用します。
⑨利用する者の範囲	新潟大学 眼科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	本学：新潟大学 眼科講師 寺島浩子
⑪お問い合わせ先	所属：新潟大学眼科 氏名：寺島浩子 Tel：025-227-2296/ E-mail：aochan@med.niigata-u.ac.jp